

	<p>脱炭素社会の実現に向けた取組を推進 CO₂排出ゼロ 燃料電池ごみ収集車の 出発式を行いました</p>
と き	5月18日（月）午後1時から
と ころ	練馬区役所（豊玉北6-12-1）
<p>18日（月）、区は、燃料電池ごみ収集車の出発式を行いました。出発式では、記念撮影のほか、吉田健一練馬区長、来賓による模擬ごみの積込み作業等を行いました。</p> <p>燃料電池ごみ収集車は、都の支援事業を利用して試験導入するものです。区は、本年2月に締結した「燃料電池ごみ収集車ステップアップ型導入支援事業に係る協定」に基づき、車両の運用と保管を担当します。約1年半の間（令和9年9月まで）、無償で借り受け、脱炭素社会の実現に向けた啓発活動や家庭ごみの収集作業に活用します。</p> <p>吉田区長は、出発式で「区では、「練馬区環境基本計画2023」に基づき、脱炭素社会の実現に向けて様々な取組を展開している。この燃料電池ごみ収集車の試験導入はその一環であり、本日の出発式を契機として、脱炭素社会の実現に向けた取組をより一層進めていきたい。」と挨拶しました。</p> <div data-bbox="1082 680 1474 943"></div> <p>▲記念撮影（区長、来賓）</p> <div data-bbox="1082 1003 1474 1265"></div> <p>▲ごみの積込み作業（吉田区長）</p>	

【試験導入の目的】

- ・脱炭素社会の実現に向けた取組をPRするとともに、将来的に燃料電池ごみ収集車の社会的・環境的な整備が進んだときに対応できるよう、収集・運搬作業に活用して実証データを蓄積する。

【燃料電池ごみ収集車の活用方法】

- ・ごみ収集のほか、区内イベントや小学校、保育園、幼稚園などで行う環境学習で啓発業務に活用する。

【燃料電池ごみ収集車の特徴】

- ・走行時に二酸化炭素（CO₂）を排出しない。
- ・電気自動車と同様に静粛性に優れている。
- ・燃料である水素の充填時間は、電気自動車の充填時間よりも短い。

【協定締結事業者】

燃料電池ごみ収集車は、東京都の「ZEVごみ収集車実装支援事業」を利用して試験導入する。
支援事業は、以下の協定締結事業者が協力して実施する。

事業者	主な役割
練馬区	車両の運用・保管
東京都	車両関係費用の負担・事業に係る全体調整
CJPT(株)	車両の調達・提供に係る調整
いすゞリーシングサービス(株)	車両の貸与・点検・保険への加入

【問合せ】 練馬区 清掃リサイクル課 管理係 電話 03-5984-1094